



2018 CSR REPORT

株式会社ミカサ CSRレポート



CONTENTS

NEW AGE. NEW CHALLENGE.

新たな時代に新たな挑戦を

三笠特殊工業株式会社は、平成 30 年 6 月 1 日に株式会社ミカサへと社名変更いたしました。

CSR レポートに寄せて

株式会社ミカサの CSR レポートは今年で 3 年目になりました。年 1 回発行のこのミカサオリジナルのレポートは、社内外のみなさまへ、わたしたちの活動と思いをお伝えする CSR レポートです。今回は、創業以来、我が社に根付いている「社会貢献」活動について改めて考え、わたしたちの事業や活動と SDGs との関連を見つめる機会にしました。わたしたちは自分事として社会の課題を捉え、社員ひとりひとりの学びとチャレンジをミカサの活動に活かし、企業の責任ある対応として課題と向き合っています。

「持続可能な企業・社会でありたい」その思いを込めたレポートをみなさまへお届け致します。このレポート発行にあたり、ご協力くださったみなさまへ心から御礼を申し上げます。

CSR レポート 2018 実行委員
代表 朝日 響

トップメッセージ

03 - 04

特集：SDGs につながる取り組み

05 - 06

持続可能な社会をめざして

07 - 10

地域とつながる

11 - 16

社員の幸せを守る

17 - 18

社会活動を支援する

19 - 20

CSV へ向けた取り組み

21

トップメッセージ

TOP MESSAGE

社会の変化を的確にとらえる

昨年6月に三笠特殊工業株式会社から株式会社ミカサへ社名を変更しました。新生ミカサの誕生です。令和を迎えた今、社会はスピードを増して変化しています。この時代に、ただ迎合するだけでなく、逆らうでもなく、さらに会社を成長させるために、昨年度は大きく舵をきりました。

- ◇ダイバーシティ社会への対応…ベトナムからの技能実習生の受入、障がい者雇用
- ◇CSVへの前進

ダイバーシティ社会を意識、理解し、受入れて、共に働くという選択は、まさに企業に求められている「社会の課題への対応」であり、CSR活動といえます。わたしたちミカサは、社会の課題の変化に応じて「どのように対応していくのか」、責任ある行動が求められています。

またCSR活動の醸成を経て、CSV（Creating Shared Value：共有価値の創造）事業へ一歩を踏み出しました。

令和元年の今、ミカサの企業理念である「社会貢献」を自ら問いなおし、新生ミカサは社会が抱える課題解決に力を尽くしてまいります。

※CSVとは、社会的な価値と企業にとっての価値を両立させて、企業の事業活動を通じて社会的な課題を解決していくことを目指す新たな経営理念です。

会社の成長に欠かせない「利他の心」

会社は一つのチームです。「私が、私が・・・」と自分を前にだと必ず亀裂が生じます。では、どうしたら良いのでしょうか。それは「利他の心」を持つことです。自分の幸福だけではなく、社会全体の幸福を考え、目指す方向を共有し、対話を行い、さらに行動できる人になるということです。ひとりひとりが「利他の心」を持った一員になることで、私たちミカサチームは、お客様に必要とされる企業になり、持続可能な企業として成長していくことができるのです。

「学び」と「チャレンジ」を応援

ミカサは、社員のみなさまが成長し、生きがいを得られるような会社でありたいと思っています。ひとりの成長は、その個人だけにとどまるものではありません。水面に広がる波紋のように、会社、そして社会へと広がります。

社員のみなさまが「チャレンジ」しやすい環境を整え、「学び」を応援します。新たな知識、時代が生み出す新しい考え方、今までとは違う効率的な手法など、一緒になって勉強し、楽しみながら挑戦できる会社にしてまいります。

株式会社ミカサ
代表取締役

倉重 一男

特集

SDGs につながる取り組み

世界では、発展途上国から先進国まで国際社会全体で、様々な課題に取り組む動きが活発になってきています。「ジェンダー」・「貧困」・「雇用」・「気候変動」など、国際社会が取り組む社会課題の中には、私たちの暮らしと結びつくものが多くあります。この解決に向けた取り組みとして個人、団体、企業問わず、多くの努力が必要になってきます。ミカサでは、すでに事業や活動のなかに、その種を撒いています。わたしたちの行っている事業や社会貢献活動は、SDGs という国際目標に向かっているのです。

SDGs とは

持続可能な開発目標 (SDGs) とは、2015 年 9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」にて記載された国際目標です。持続可能な世界を実現するための「17 の目標」とその課題ごとに設定された「169 のターゲット (具体目標)」から構成されています。SDGs は発展途上国だけではなく、あらゆる国と地域が、貧困や飢餓、働きがいや経済成長、気候変動に至るまで、世界が抱える課題を誰一人とり残さず包括的に解決することを目指しています。



ミカサの企業理念と 5 つの約束

企業理念に掲げる「社会貢献」。これは社会全体の利益あってこそという考えであり、「誰もが暮らしやすい生活環境づくり」を実現するため、我々は常に「質の高いサービス」を提供し続けることを使命としています。このたび、弊社では SDGs の理念に賛同し、私たちなりの CSR 活動を通じて、SDGs の実現に向け努力していきます。

- PROMISE 01 水と緑、すべての環境にとって健全で美しい状態をめざします
- PROMISE 02 快適で安全なまちを実現するため何事にも誠実に向き合います
- PROMISE 03 地域あつての企業であることを念頭におき地域と共に一体となって成長します
- PROMISE 04 日々進化する先端技術へのあくなき探求を行います
- PROMISE 05 ともにビジョンの達成に向かう職員を大切にします

ミカサの目指すもの

CSR の重要テーマを定め、それぞれのテーマにおいて目指すべきものを各事業より設定しました。さらに、SDGs とも絡め、より社会に貢献していきます。

CSR 重要テーマ	目指すもの	SDGs
持続可能な社会をめざして	循環型社会の実現 あらゆる人の活躍を推進する 子どもの未来を応援	1 貧困をなくそう, 4 質の高い教育をみんなに, 6 安全な水とトイレを世界中に, 8 豊かになりつつある経済成長, 10 人や国の不平等をなくそう, 11 住み続けられるまちづくりを, 12 つくる責任 つかう責任, 14 海の豊かさを守ろう, 17 パートナリープで目標を達成しよう
地域とつながる	地域の絆と安心社会の実現	3 持続可能な消費と生産, 4 質の高い教育をみんなに, 5 ジェンダー平等を実現しよう, 8 豊かになりつつある経済成長, 11 住み続けられるまちづくりを, 14 海の豊かさを守ろう, 15 陸の豊かさを守ろう, 17 パートナリープで目標を達成しよう
社員の幸せを守る	ダイバーシティ社会に対応した配慮	3 持続可能な消費と生産, 5 ジェンダー平等を実現しよう, 8 豊かになりつつある経済成長, 10 人や国の不平等をなくそう, 11 住み続けられるまちづくりを, 16 平和と公正をすべての人に
社会活動を支援する	協賛活動 その他	3 持続可能な消費と生産, 4 質の高い教育をみんなに, 5 ジェンダー平等を実現しよう, 12 つくる責任 つかう責任
CSV へ向けた取り組み	下水汚泥から燃料化物を製造し、それを石炭の代替燃料として有価で供給する事業	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに, 9 産業と技術革新の基盤をつくろう, 12 つくる責任 つかう責任, 13 気候変動に具体的な対策を



持続可能な社会 をめざして

Sustainability

持続可能な未来を社会とともに築いていくことは、企業の社会的責任です。ミカサは、環境に携わる企業として、独自の資源循環システムの構築をおこなっています。また、新たな人材の雇用や未来ある子どもたちのために向けた取り組みをおこない、持続可能な社会の発展に貢献しています。

SDGs との関わり



本のリユースイベント

循環のまちをめざして BOOK BOOK 本市

「うちでは読まない」 けれど 「誰かに読んでほしいな」 循環型社会を目指した本のリユースイベントを行っています。絵本や小説、専門書など本のジャンルはさまざま。回を重ねるたびに、オープン時間には行列ができるようになりました。2018年度は、9月に「いとにぎわい祭り」、3月に「西区環境フェスタ」にて、開催しました。2,200冊の本が、1,000人を超す新しい持ち主との出会いを果たしました。また、福岡市における環境の保全・創造に高い水準での貢献を表彰する「福岡市環境行動賞」にて特別賞を受賞いたしました。



第9回 福岡市環境行動賞 表彰式 主催：福岡市



新たな雇用の実施

障がい者の方々の自立を支援するため、雇用の制度を整え、2018年度は7名の雇用となりました。障がいの有無に関わらず、互いが理解を深め、自身の能力を最大限に発揮できる職場環境を展開しています。



社員へのインタビュー

2018年9月に入社。ミカサでは、初めての聴覚障がい者の雇用でした。彼が希望する合理的配慮は、わかったふりをしないこと。わかったふりをしてしまうことが、健聴者と障がい者の壁を作っているのかもしれない。田中さんの入社後、本社は朝礼で「一日一手話」コーナーを作り、みんなで手話を練習しています。健全な職場環境は、コミュニケーションが基本です。手話だけの会話が難しいときは、筆談や「UDトーク（会話の見える化アプリ）」などを活用し情報共有を図っています。今後、田中さんが取り組みたいことは、業務の資料・データをデジタル化して作業の効率アップすること、ミカサの社会貢献活動である市民参加型「BOOKBOOK本市」の活動を広げることです。ダイバーシティな社会を目指して、私たちはお互いを理解し尊重することから取り組みを始めています。



「名前」という手話表現

田中 義則 さん

職業技能実習生を受け入れ

ベトナムから2名の技能実習生の受入をスタートしました。講習を受けた技能実習指導員・生活指導員等でチームを編成し、相談・支援体制を整えています。わたしたちは、実習生が技能を習得することで、ベトナムと日本の架け橋となり国際貢献の一助になりたいと願っています。これからも、彼らに寄り添い、応援を続けていきます。



「FUKUOKA みらいフェスタ」への参加

「FUKUOKA みらいフェスタ」は、子どもたちの夢と希望、志を育むイベントとして、福岡市の多くの企業が参加しています。ミカサはこの趣旨に賛同し、『みらいフェスタ 2018in ミカサ』を企画し、社員を支える子どもへの感謝と家族の絆づくりの応援を伝え、体験学習の場を提供しました。「ミカサってこんな会社なんだ」「お父さん・お母さんが働く姿はかっこいい」子どもたちにいろんな思いがうまれた一日になりました。わたしたちは、未来ある子どもの笑顔と夢を見守っていきます。



「チャレンジトリップ」にて子どもたちを引率

NPO 法人アジア太平洋子ども会議・イン福岡（=APCC）のチャレンジトリップ 2019 へ社員がボランティアとして参加し、15人の子どもを引率者としてマレーシアへ行きました。APCCは「OMOIYARIの心をもった地球市民」の育成を目指して30年間活動を続ける団体です。「経験する」ことは子どもたちの健やかな成長につながります。子どもひとりひとりが主役になり、思いやりと自主性を育み、安心して「経験」できる居場所を作りました。わたしたちは、子どもにやさしい人、まちでありたいと考えています。





花と緑のまちづくり

花で彩るまちづくり「一人一花運動」

福岡市の「一人一花運動」を応援しています。地下鉄大濠公園駅の花壇は、地下鉄清掃職員の心をこめた手入れによって、年間を通して花が咲いています。ふと花壇に目をとめる市民の「ありがとう」が、私たちと地域をつないでいます。みんなを笑顔にする「花」を通して、私たちは「優しさ」の種まきをしています。



地域とつながる

COMMUNITY

地域住民の暮らしに深く関わる企業として、地域貢献は欠かすことができない活動です。ミカサでは、地域交流センターや体育館の指定管理業務を中心として、地域の健康づくりや、環境美化、環境活動など、さまざまな取り組みをおこなっています。

SDGs との関わり



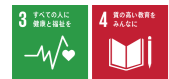
地域交流センターでのまつりに協力

地域交流センターでは、コミセンわじろの「コミセンまつり」、さいとぴあ「いとにぎわい祭り」といった地域の方々が主体となった祭りが毎年開催されており、地域交流センターも地域を盛り上げるために協力をしています。地域のサークル・学校・団体等の活動の成果を発表する場としての発表会、まつりを通じた交流の場としてのブースなど、地域のまつりの一つとして定着しつつあります。



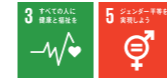
市民を講師に学ぶ地域大学

レスポール久山とコミセンわじろでは、市民が講師となって授業をおこなう地域大学を開催しています。地域ならではの特色をもった話題がテーマとなっているため、より地域のことに興味を持ち、自分の住む地域について理解を深めることが可能になりました。また、講座に参加していただいた方同士のコミュニティの形成にも効果を発揮しています。



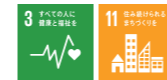
ライフスタイルにあわせた健康づくりを提案

福岡市立東・西体育館では、子どもから高齢者まで、ライフスタイルに合わせたスポーツ教室を企画しています。また、コミセンわじろとさいとぴあでは、未就学児を持つお母さんを対象に、心と体のエクササイズを目的としたピラティス教室を開催。地域の方の協力を得て託児コーナーを準備し、親子が安心して参加できる教室にしました。



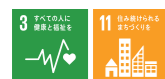
敬老の日にシニアイベントの開催

福岡市が提唱した『福岡 100』の視点を踏まえ、コミセンわじろとさいとぴあでは、地域の高齢者を対象としたイベントを実施しています。イベントでは、体力づくりや脳トレなどの種目が体験できるほか、体力・健康状態に即した指導などをおこなっています。



「健康教室」を通じて地域に笑顔を提供

地域交流センターや東・西体育館で働くスポーツ指導員は施設内に留まらず、地域のスポーツ指導員としても活動しています。近隣の公民館で健康教室の講師をしたり、地域のイベントで体操をしたりとさまざまな場所へ伺っています。スポーツ指導員は体の健康づくりだけでなく、心も健康になって、たくさんの方が笑顔になるような指導を行っています。



子どもの日に無料イベントを開催

地域交流センターと東・西体育館では、毎年5月5日（子どもの日）に施設を無料開放し、同時に子どもを対象としたイベントを開催しています。子どもの体力・知力・対応力などを育成できるような運動、遊びを企画し、地域の子どもの笑顔が増える機会を生み出しています。



指定管理事業（2019.3.31 時点）

コミセンわじろ（福岡市和白地域交流センター）

地域住民の皆様の交流の場の提供や、地域福祉の向上などに寄与することを目的とした公設民営の複合施設です。JR 福工大前駅の駅舎ビル内にあり、同じく市営の「和白図書館（指定管理外）」を併設しています。特定非営利活動法人九州コミュニティ研究所とのJVで管理運営を行っています。

レスポアール久山（久山町文化交流センター）

幼児から高齢者まで、住民すべての生涯学習の場として、また、豊かな地域文化創造の拠点施設として、久山町民の文化交流に寄与することを目的とする公設民営の複合施設です。ホールや会議室を有するコミュニティセンターと「久山町民図書館」を併設しています。

さいとぴあ（福岡市西部地域交流センター）

地域住民の皆様の交流の場の提供や、地域福祉の向上などに寄与することを目的とした公設民営の複合施設です。JR 九大学研都市駅前に位置し、同じく市営の「西部出張所と西部図書館（指定管理外）」を併設しています。特定非営利活動法人九州コミュニティ研究所との2施設目のJV事業として管理運営を行っています。

福岡市立東体育館・福岡市立西体育館

スポーツの振興を図ることを目的として設置され、市民が生涯にわたって気軽にスポーツ・レクリエーションや運動を楽しめる身近な施設です。特定非営利活動法人福岡市レクリエーション協会とのJV事業として管理運営を行っています。

あすみん（福岡市NPO・ボランティア交流センター）

「明日（あす）の市民（しみん）」への思いを込めた公益活動のサポートセンターとして設立された公設民営の施設です。特定非営利活動法人九州コミュニティ研究所との3施設目のJV事業として管理運営を行っています。

地域清掃への取り組み

周辺地域の美化活動

地域と関わることが多い企業として、環境美化活動にも力を入れています。地域の方々と一緒に海岸や公園の清掃をしたり、地域の方々の利用が多い場所では、機材を使った草刈りなどをおこなっています。また、地域交流センターでは、福岡市主催「ラブアースクリーンアップ」に毎年参加。本社でもビルメンテナンス協会が主催するクリーンアップに役職に関わらず多くの社員が参加し、天神・博多周辺の清掃をおこなっています。



スキル向上のために

資格取得をサポート

各事業所で業務に役立つ研修を行ったり、資格取得のための受験を推奨しています。管理する施設をより使いやすく、居心地の良いものにするためのものや、より専門的技術を身につけるためのものなど、毎年さまざまな資格を取得しています。

〔保有資格 ※一部〕

建築物環境衛生管理統括責任者 / 建築物環境衛生管理技術者 / ビルクリーニング技能士 / 空気環境測定実施者 / ダクト清掃作業監督者 / 清掃作業監督者 / 空調給排水管理監督者 / 貯水槽清掃作業監督者 / 防除作業監督者 / 高所作業車運転 / 建築物排水管清掃作業監督者 / 消防設備士 / 第三級陸上特殊無線技師 / 甲種防火管理者 / 防火管理教育担当者 / 冷凍機械責任者 / 産業洗浄技能士 / UD コーディネーター / 安全衛生推進者 / 中高老年期運動指導士 / 健康運動実践指導者 / サービス介助士 / 准認定ファンドレーザー など

社員が働きやすい職場づくり

女性活躍推進委員会の取り組み

社員みんなが心地よくて安心できる職場環境を整えるために、社員がつどえる場を企画するなど社員の声を聞き、環境を改善していく活動をしています。また、国籍や性別の枠組みを超え、活動が広く浸透していくことを目指し、男女問わず社員の参加を促したり、外国人技能実習生にも生活指導員として寄り添うことをしています。2018年には、ミカサで初めて2名の社員が産休制度を利用しました。私たちは、社員と向き合い、社会が抱える課題に取り組んでいます。



2018年度産休取得実績

2名



社員の幸せを守る

Employee Satisfaction

社員が生き生きと働き、自由に挑戦し、自らの成長が実感できるよう、人材開発やワーク・ライフ・バランスの充実に向けた制度の構築や職場環境の改善に取り組んでいます。

SDGs との関わり





社会活動を支援する

SUPPORT

ミカサでは、地域と互いに良好なコミュニケーションを保ちながら、地域社会の発展に貢献できるよう、事業以外においても支援をおこなっています。今後も寄付や社員一人ひとりの活動を通して、地域に根差した活動をされている団体へ支援を続けていきます。

SDGs との関わり



国際 NGO への支援

使用済み切手を国際協力 NGO へ寄付

会社に届いた郵便物から使用済み切手を切り取り、女性のいのちと健康を守る活動をしている日本生まれの国際協力 NGO 「公益社団法人ジョイセフ」へ寄付をおこなっています。2018 年度は、650 グラムの切手を寄付しました。



Reproductive health for today and the future

ジョイセフ（公益財団法人）は、女性のいのちと健康を守るために活動している日本生まれの国際協力 NGO です。国連、国際機関、現地 NGO や地域住民と連携し、アジアやアフリカで、保健分野の人材養成、物資支援、プロジェクトを通して生活向上等の支援をおこなっています。（ジョイセフホームページより）

<https://www.joicfp.or.jp/jpn/>

スポーツやイベントへの応援

企業やイベントへの協賛

福岡市の取り組みを中心にスポーツチームや地域イベントなど協賛を通じて、様々な応援をおこなっています。

〔今年度の協賛実績〕

- 2018 アビスパ福岡サポートファミリー
- 赤い羽根共同募金
- スポーツフェスタ・ふくおか（福岡県スポーツ振興課）
- ふくおか灯のパートナー
- 福岡クリスマスマーケット 2018
- 福岡プロバスケットボールクラブ株式会社 ライジングゼファーフクオカ
- フラワーアップスクール
- 福岡・大連未来委員会 機関紙「未来」
- 福岡市スポンサー花壇（福岡市）
- 祭りひさやま 2018（久山町商工会青年部）

— 2019年の新たな試み —
CSV へ向けた取り組み

九州最大級の下水汚泥燃料化施設の運用

ミカサは、月島機械株式会社、電源開発株式会社（以下「Jパワー」）と共同で、「御笠川那珂川流域下水道御笠川浄化センター下水汚泥固形燃料化事業」の事業契約を福岡県と締結いたしました。（2016年12月20日）その後、2018年12月に特別目的会社「株式会社バイオコール福岡御笠川（社長：長谷川 昭）」を設立し、下水汚泥固形燃料化施設の建設と運営準備を進めてまいりましたが、今般、同施設が完成し、4月1日より同施設の運営を開始することとなりました。

今後は、株式会社バイオコール福岡御笠川が2019年4月より20年間にわたり同施設の維持管理・運営及び同施設で製造される燃料化物の買取りを行い、燃料化物はJパワーの石炭火力発電所において石炭と混焼利用する計画です。

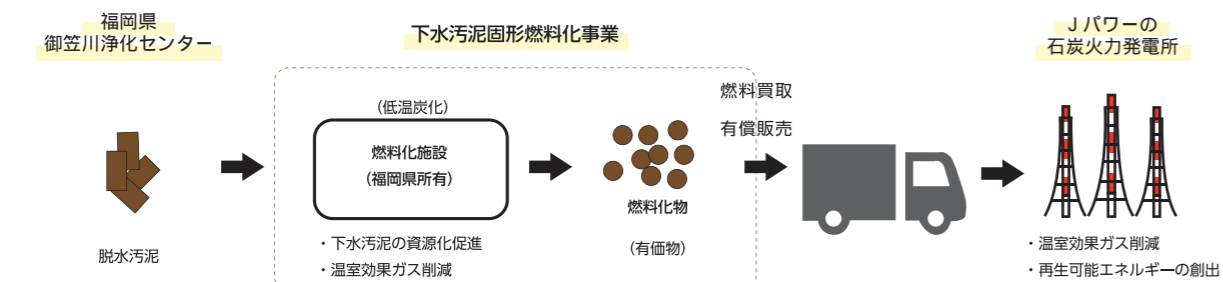
ミカサは、地球温暖化防止に大きく貢献出来る下水汚泥燃料化リサイクル事業の普及・拡大に向けて、これからも積極的に取り組んでまいります。



事業概要

御笠川那珂川流域下水道御笠川浄化センター（福岡県福岡市博多区那珂4丁目5-1）において、バイオマス資源である下水汚泥から燃料化物を製造し、石炭の代替燃料として有価で供給する福岡県の事業です。燃料化施設の設計・施工・維持管理運営・燃料化物買取りを一括して民間事業者に委託するDBO(Design: 設計、Build: 施工、Operate: 運営)方式が採用されています。

<事業概要図>



会社概要
 Enterprise information

名称	株式会社ミカサ
所在地	〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東1丁目16-14 リファレンス駅東ビル 6F
電話	092-431-3829 (代)
FAX	092-481-7310
設立年月日	昭和50年1月
資本金	3,000万円
代表取締役	倉重一男
従業員数	約400名
加入団体	公益社団法人 全国ビルメンテナンス協会 公益社団法人 福岡県ビルメンテナンス協会 社団法人 福岡県警備業協会 社団法人 日本ボイラー協会 公益社団法人 日本下水道協会 公益社団法人 日本下水道管路管理業協会 公益社団法人 福岡県産業廃棄物協会 福岡中央労働基準協会 福岡県冷凍設備保安協会 日本環境管理学会 福岡県流域下水道維持管理協会 一般社団法人 日本下水道施設管理業協会

許認可種目

- | | |
|------------------------------------|---------------------------------------|
| 下水道処理施設維持管理業 国土交通省 (6) 処 24-104 | 警備業 福岡県公安委員会 第 90000079 号 |
| 建築物環境衛生総合管理業 福岡県 27 総第 4 号 | 労働者派遣事業 (マージン率:20%) 厚生労働省 派 40-301015 |
| 建築物飲料水貯水槽清掃業 福岡県 27 総第 4 号 | 管工事業 福岡県 般-27 第 32789 号 |
| 建築物ねずみごん虫等防除業 福岡県 27 総第 4 号 | しゅんせつ工事業 福岡県 般-27 第 32789 号 |
| 産業廃棄物収集運搬業 福岡県 第 04000041287 号 | 機械器具設置工事業 福岡県 般-27 第 32789 号 |
| 特別管理産業廃棄物収集運搬業 福岡県 第 04000041287 号 | 造園工事業 福岡県 般-27 第 32789 号 |
| 宅地建物取引業者 福岡県知事 (3) 第 016126 号 | 水道施設工事業 福岡県 般-27 第 32789 号 |
| 産業廃棄物収集運搬業 大分県 第 04402041287 号 | 清掃施設工事業 福岡県 般-27 第 32789 号 |
| 産業廃棄物収集運搬業 山口県 第 03500041287 号 | 浄化槽保守点検業 福博保 第 3 号 |
| 産業廃棄物収集運搬業 熊本県 第 04305041287 号 | 一般貨物自動車運送業 九運貨物第 611 号 |
| 産業廃棄物収集運搬業 長崎県 第 04200041287 号 | |